アバッセたかた

災害対応支援

阪神・淡路大震災から今日まで、災害で培ったノウハウのすべてを、
大規模災害からの復旧・復興に注ぎこむ。

阪神・淡路大震災以降、
地震大国日本で起こった大規模地震。
それらすべての復旧・復興に携わってきたのがURです。
そうした経験から生まれた知見を最大限に活かしながら、
URは、地震や大雨等の大規模災害が起きた際、
国土交通省や内閣府等からの要請により、
速やかな復旧・復興支援を行っています。
支援は、被災した建物や宅地の調査、一時的な住宅提供等の
応急的なものから、まち全体の復興支援まで多岐にわたります。

復興は、単に元に戻すだけでは終わりません。
地域の人々が安心して、再び住み続けられるように、
戻ってきたいと思えるまちづくりが重要です。
URは、地方公共団体や民間事業者と連携をとりながら、
より安全で、より暮らしやすい、
魅力的なまちづくりに取り組んでいます。
災害は予測が難しく、また、避けるのも難しいもの。
地方公共団体にいかに自分ごと化してもらうかも課題のひとつ。
研修等でノウハウを継承し、啓発活動にも力を入れています。